

令和7年フェロモントラップによるコナガ誘殺消長

農業農村支援センター、試験場で実施したフェロモントラップによる誘殺消長調査の結果です。

(農業農村支援センター調査データは7日間隔で調査したものを5日間隔に補正してあります。)

【コメント】

- ・塩尻市では、平年と比べ遅い、4月第4半旬に初誘殺され、4月～8月第5半旬の誘殺頭数は平年と比べかなり少なかった。
- ・小諸市では、4月第4半旬～5月第3半旬まで平年値の数倍の誘殺頭数であったが、6月下旬～8月は、平年と比べ誘殺頭数は少なかった。
- ・上田市では、初誘殺はやや早く、4月の誘殺頭数は平年と比べやや多かったが、5月～6月はほぼ平年並、7月～8月は平年と比べ少なかった。
- ・原村では、5月上旬及び6月中旬～7月中旬に発生山の山がみられ、いずれも平年と比べ誘殺頭数が多かったが、7月下旬以降減少し平年と比べ誘殺頭数は少なかった。
- ・朝日村では、5月～7月の総誘殺頭数が平年値の約2倍と、かなり多かった。8月上中旬は平年と比べ少なかったが、8月下旬は再び平年と比べ多かった。
- ・大町市では、5月第4半旬から誘殺頭数が多く、5月第4半旬～8月第4半旬までの総誘殺頭数は、過去3年間の平均値の2.3倍の誘殺頭数であった。
- ・長野市では、5月の総誘殺頭数は平年の約3倍と多かったが、6月に入り平年並となり、7～8月は平年と比べ少なかった。



